

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-215749

(43)Date of publication of application : 02.08.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

B65G 61/00

G06K 17/00

G06K 19/00

(21)Application number : 2001-011907

(71)Applicant : TOPPAN PRINTING CO LTD

(22)Date of filing : 19.01.2001

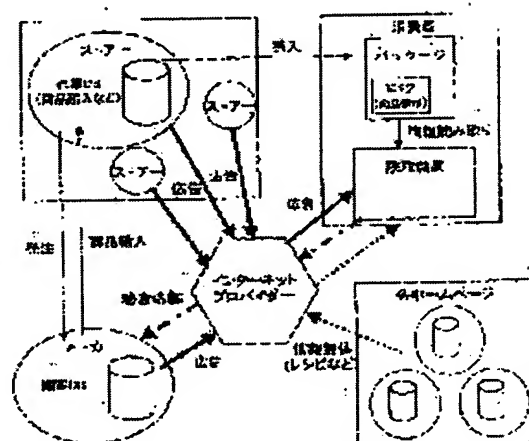
(72)Inventor : SUZUTA MASAYOSHI  
NAKAGAWA KIMIKATSU  
EDA HARUHIKO

(54) PACKAGE, READING DEVICE, ARTICLE MANAGING METHOD, INFORMATION BROWSING METHOD, AND APPLYING METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a package provided with an IC tag, an IC tag reader, a method of managing article information using the package provided with an IC tag and the IC tag reader, a method of browsing information related to an article through Internet, and a method of application such as order of an article.

SOLUTION: For a package in which an article is packaged, the package provided with an IC tag with at least article management information stored thereon, and a reading device are used. The reading device is characterized in that it comprises a reading means for receiving the article management information sent from the IC tag of the package and reading the article management information, a storage means for storing the management information read from the IC tag by the reading means, a managing means for managing the article stored in a storage body based on the management information stored in the storing means, and a display means for showing the condition of management by the managing means.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-215749

(P2002-215749A)

(43) 公開日 平成14年8月2日(2002.8.2)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	ターミナル*(参考)
G 0 6 F 17/60	1 1 8	G 0 6 F 17/60	1 1 8 5 B 0 3 5
	5 0 4		5 0 4 5 B 0 5 8
B 6 5 G 61/00	2 1 0	B 6 5 G 61/00	2 1 0
	4 3 2		4 3 2
G 0 6 K 17/00		G 0 6 K 17/00	L

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 7 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-11907(P2001-11907)

(22) 出願日 平成13年1月19日(2001.1.19)

(71) 出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72) 発明者 鈴木 昌由

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72) 発明者 中川 仁克

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72) 発明者 江田 春彦

東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

Fターム(参考) 5B035 BB09 BC03 CA23

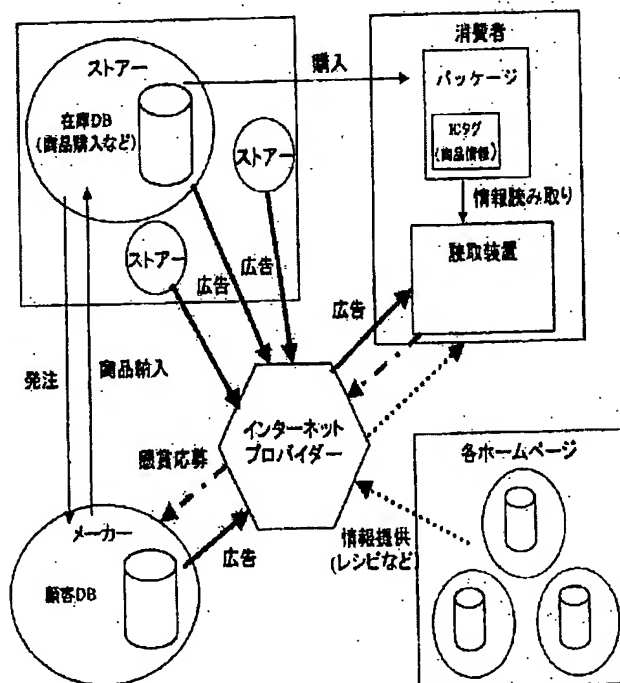
5B058 CA17 CA24 KA02 KA06 YA20

(54) 【発明の名称】 パッケージ、読取装置、商品管理方法、情報閲覧方法、及び申込み方法

(57) 【要約】

【課題】本発明は、ICタグを設けたパッケージ、ICタグの読取装置、及びICタグを設けたパッケージとICタグの読取装置を用いた商品情報の管理方法、商品に関連した情報をインターネットで閲覧する情報閲覧方法、商品の発注、応募等をインターネットをにより行う申込み方法に関するものである。

【解決手段】商品を包装したパッケージにおいて、少なくとも商品管理情報を記憶したICタグを設けたことを特徴とするパッケージと、該パッケージのICタグが送信する商品管理情報を受信し、該商品管理情報を読み取る機能を有する読取手段と、該読取手段によって前記ICタグから読み取られた管理情報を記憶する記憶手段と、該記憶手段に記憶した前記管理情報に基づいて収納体に収納された商品を管理する管理手段と、該管理手段による管理状況を表示する表示手段とを有することを特徴とする読取装置とを用いる。



【特許請求の範囲】

【請求項１】商品を包装したパッケージにおいて、少なくとも商品管理情報を記憶したＩＣタグを設けたことを特徴とするパッケージ。

【請求項２】少なくとも商品管理情報を記憶したＩＣタグを設けたパッケージの該ＩＣタグが送信する商品管理情報を受信し、該商品管理情報を読み取る機能を有する読取手段と、該読取手段によって前記ＩＣタグから読み取られた管理情報を記憶する記憶手段と、該記憶手段に記憶した前記管理情報に基づいて収納体に収納された商品を管理する管理手段と、該管理手段による管理状況を表示する表示手段とを有することを特徴とする読取装置。

【請求項３】少なくとも商品管理情報を記憶したＩＣタグを設けたパッケージを、読取装置を出入り口に設けた収納体に入れることで、前記パッケージのＩＣタグが送信する商品管理情報を前記読取装置の読取手段で読み取り、記憶手段で記憶するステップと、前記パッケージを前記収納体から取り出すことで、前記パッケージのＩＣタグが送信する商品管理情報を前記読取手段で読み取り、該読み取った商品管理情報と前記記憶手段に記憶した商品管理情報とを比較し記憶した管理情報を書き換えるステップと、該書き換えた商品管理情報を出力手段に出力するステップとからなることを特徴とする商品管理方法。

【請求項４】少なくとも商品管理情報及び特定のホームページアドレス情報を記憶したＩＣタグを設けたパッケージを、読取装置を出入り口に設けた収納体に入れることで、前記パッケージのＩＣタグが送信するホームページアドレス情報を前記読取装置の読取手段で読み取り、記憶手段で記憶するステップと、該ホームページアドレス情報によりネットワークを介し前記ホームページのデータを記録したサーバにアクセスし、前記ホームページの情報を受信するとともに出力手段に出力するステップとから成ることを特徴とする情報閲覧方法。

【請求項５】少なくとも商品管理情報、特定のホームページアドレス情報を記憶したＩＣタグを設けたパッケージを、読取装置を出入り口に設けた収納体に入れることで、前記パッケージのＩＣタグが送信するホームページアドレス情報を前記読取装置の読取手段で読み取り、記憶手段で記憶するステップと、該ホームページアドレス情報によりネットワークを介し前記ホームページのデータを記録したサーバにアクセスすると共に応募、発注等に必要情報の入力を促すステップとから成ることを特徴とする申込み方法。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】本発明は、ＩＣタグを設けたパッケージ、ＩＣタグの読取装置、及びＩＣタグを設けたパッケージとＩＣタグの読取装置を用いた商品情報の管理方法、商品に関連した情報をインターネットで閲覧

する情報閲覧方法、商品の発注、応募等をインターネットをにより行う申込み方法に関するものである。

【０００２】

【従来の技術】従来より、各種店舗等での商品の販売ではパッケージを利用している。パッケージは商品等を包装する事を主な目的とするが、商品等の情報が表示でき、商品の長所や品質表示にも用いられている。

【０００３】しかしながら、従来の包装形態では、各家庭における食品やトイレタリー製品の品質管理や在庫管理などのデータを管理することはできない。これらの各家庭内における食品（特に冷蔵庫内の商品）の管理法では、特開平１１－２２３４４３のようにＩＣカードを利用して管理する方法があるが、カード式は食品を購入する際に、常に店舗などにそのカードを携帯していく必要がある。その場合、カードを忘れたり、無くしたりするなどの問題があり、店によってはそのカードリーダーが無い恐れがある。また、商品を購入し、家庭内で購入した商品情報を電化製品に読み込ませる際に、これらのリーダーが、電化製品ごとに仕様が異なる、このリーダーで情報を読み取らせるために、そのリーダーが備わった新たな電化製品を購入する必要があるなど課題点が多い。

【０００４】また、特開２０００－６５４６５のように、賞味期限など情報を記録したメモリラベルを貼りつけた包装体を冷蔵庫に備え付けたリーダーライターによって読み取ることで賞味期限を表示するなどのものがあるが、これらはあくまで冷蔵庫に限定されたものであり、食品用途に限られること、また、食品で賞味期限までぎりぎり保管するようなものは思ったよりも少なく、消費者のニーズとしては、食品、トイレタリー用品問わず、あとどれくらい使えば新しい商品を買換える時期かの情報を提供してくれる機器が望まれている。

【０００５】また、上述した例のＩＣやメモリーカード用のリーダーでは料理のレシピを提供してくれるものもあるが、消費者動向としては、これらのレシピと同様に、リアルタイムで商品情報や安売り情報、新製品情報などの新情報をインターネットなどの手法で入手することを望んでおり、ただ情報を読み取るだけのリーダーだけでなく、必要とあれば、読み込まれた情報を検索語としてインターネット検索を施し、関連ある情報を即座に入手することが可能な読取装置も期待されている。また食品やトイレタリー関連の商品広告は、テレビや新聞・雑誌広告を主として見る人が多いが、消費者にとっては常に本当に必要な情報をこれらのメディアから得られているとは言いがたく、自分の嗜好や趣味に合ったメーカーの商品広告を常にチェックしたいと考えている。

【０００６】また、各メーカーは売上を向上させる目的の一つとして、キャンペーン製品を消費者にプレゼントしたりすることがあげられる（ノベルティー）。これらの方法は一般的に容器に取り付けられたシールをはがきに

貼り応募するなどの形で行われているが、これらの方法は煩雑である。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】本発明は以上の問題点に基づいてなされたものであり、商品管理情報、特定ホームページのアドレス情報、応募情報等をＩＣタグに記憶し、該ＩＣタグを商品を収納するパッケージに設け、またこのＩＣタグを読み取る読取機と組み合わせることで、従来の問題点を解消した商品管理方法、情報閲覧方法、及び応募情報登録方法を提供することを課題とするものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は係る課題に鑑みなされたものであり、本発明の請求項１の発明は、商品を包装したパッケージにおいて、少なくとも商品管理情報を記憶したＩＣタグを設けたことを特徴とするパッケージである。

【0009】本発明の請求項２の発明は、少なくとも商品管理情報を記憶したＩＣタグを設けたパッケージの該ＩＣタグが送信する商品管理情報を受信し、該商品管理情報を読み取る機能を有する読取手段と、該読取手段によって前記ＩＣタグから読み取られた管理情報を記憶する記憶手段と、該記憶手段に記憶した前記管理情報に基づいて収納体に収納された商品を管理する管理手段と、該管理手段による管理状況を表示する表示手段とを有することを特徴とする読取装置である。

【0010】本発明の請求項３の発明は、少なくとも商品管理情報を記憶したＩＣタグを設けたパッケージを、読取装置を出入り口に設けた収納体に入れることで、前記パッケージのＩＣタグが送信する商品管理情報を前記読取装置の読取手段で読み取り、記憶手段で記憶するステップと、前記パッケージを前記収納体から取り出すことで、前記パッケージのＩＣタグが送信する商品管理情報を前記読取手段で読み取り、該読み取った商品管理情報と前記記憶手段に記憶した商品管理情報とを比較し記憶した管理情報を書き換えるステップと、該書き換えた商品管理情報を出力手段に出力するステップとからなることを特徴とする商品管理方法である。

【0011】本発明の請求項４の発明は、少なくとも商品管理情報及び特定のホームページアドレス情報を記憶したＩＣタグを設けたパッケージを、読取装置を出入り口に設けた収納体に入れることで、前記パッケージのＩＣタグが送信するホームページアドレス情報を前記読取装置の読取手段で読み取り、記憶手段で記憶するステップと、該ホームページアドレス情報によりネットワークを介し前記ホームページのデータを記録したサーバにアクセスし、前記ホームページの情報を受信するとともに出力手段に出力するステップとから成ることを特徴とする情報閲覧方法である。

【0012】本発明の請求項５の発明は、少なくとも商

品管理情報、特定のホームページアドレス情報を記憶したＩＣタグを設けたパッケージを、読取装置を出入り口に設けた収納体に入れることで、前記パッケージのＩＣタグが送信するホームページアドレス情報を前記読取装置の読取手段で読み取り、記憶手段で記憶するステップと、該ホームページアドレス情報によりネットワークを介し前記ホームページのデータを記録したサーバにアクセスすると共に応募、発注等に必要情報の入力进行を促すステップとから成ることを特徴とする申込み方法である。

【0013】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を説明する。本発明でいうパッケージとは、紙箱、段ボール、ボトル、成形品（深絞り、射出等）、カップ、パウチ、チューブ等の内容物を包装する公知のパッケージ全体を意味し、またディスペンサー、キャップのようにパッケージの一部を構成すこもの、ラベル、テープ、取手等パッケージに付属されるもの対象となる。包装形態としては、単一の収納物を包装する個装形態、複数の内容物を単一に包装する集積包装形態の何れでも良い。内容物としては、食品、トイレタリー製品（洗剤、漂白剤、歯磨き粉、芳香剤、シャンプー等）、医薬品、家電製品等包装可能な物は全て対象となる。

【0014】以下、本発明の一実施形態につき、添付の図面を参照して説明する。図１はＩＣタグパッケージを示すものであり、紙箱１の任意の位置にＩＣタグ２を設けてある。ＩＣタグをパッケージに設ける形態としては、ＩＣタグをパッケージの製造過程において一体的に埋め込み設ける（完全に隠蔽した状態で埋め込むこともできるし、一部が表出した状態で埋め込むこともできる。埋め込む製造の例として紙箱の場合は紙の抄紙過程においてＩＣタグを埋め込むこともできるし、樹脂成型品であれば、溶融状態の樹脂中にＩＣタグを入れた状態で成形することもできる。また、ＩＣタグはパッケージ製造後にパッケージ貼り付けることもできる。この後ＩＣタグ上に保護層を設け、ＩＣタグの脱落防止、隠蔽等を行うこともできる。さらに別の形態として、ＩＣタグをラベル化し、このラベルをパッケージに貼着することもできる。この場合、ＩＣタグはラベルの基材（紙、樹脂等）中に埋め込むか、表（裏）面に貼着することもできる（上記したパッケージに設ける場合と同様な製造工程をとることができる）

【0015】ＩＣタグには商品管理情報、ホームページアドレス情報等が記憶されている。ＩＣタグに記憶する商品管理情報としては以下のものがあげられ、製品の特性、及び使用する方法に応じて予め選択設定、あるいは以下の例以外に設定することが可能である。製品に固有な情報として、名称（商標、品番）、品名（バター、醤油、ビール、ウーロン茶、シャンプーなど）、製造者名、販売者名などがある。総重量、および、小分けする

のであれば1回あたりの小分け重量(消費重量)、および総重量に対する小分け回数(例として500gのバターで、1回50g使用可能であるなら、10回分など)、キャンペーン情報(例として従来のシール何枚で1口応募のシールなどの変わりになる情報など)、購入時には、購入年月日や、必要に応じて購入者情報を記憶可能であり食品の場合は賞味期限(消費期限、品質保持期限)も可能である。ホームページアドレス情報とはURL(UNIFORM RESOURCE LOCATOR)のことである。このURLは製品の販売会社のホームページのURL、製品を購入しストアのホームページのURL等がある。

【0016】図2は読取装置10である。読取装置10は、少なくとも商品管理を記憶したICタグを設けたパッケージの該ICタグが送信する商品管理情報を受信し、該商品管理情報を読み取る機能を有する読取手段と、該読取手段によって前記ICタグから読み取られた管理情報を記憶する記憶手段と、該記憶手段に記憶した前記管理情報に基づいて収納体に収納された商品を管理する管理手段と、該管理手段による管理状況を表示する表示手段11とを有する。表示手段は表示された各種情報を選択し入力することが可能なようにタッチパネルとすることもできる。本読取装置10は収納体の出入り口近辺に取り付ける。収納体とは、食品用途であれば冷蔵庫や電子レンジ、食品収納棚、食品収納室に、トイレタリー関連であれば、洗面所や浴室のような部屋(防水処理を施すなどの手法を用いて)に、その他商品を収納することができる有限の区画された収納空間を有するものであればすべて対応することができる。また、その他の手段として、野菜などの様に包装形態が無く、ICタグを設けることができない商品や、前記した本発明に関わるICタグ付きパッケージを用いていない商品にも対応するために、本読取装置に人間が直接商品管理情報等を入力させることも可能とするためにキーボード等の入力手段を設けることも可能である。本読取装置は単体で機能を備えたものとすることもできるし、本読取機は、商品を収納する収納体、例えば冷蔵庫、電子レンジ、棚、小型倉庫などの取り出し口(出入り口)付近に、これら収納体と一体的に設けることもできる。

【0017】次に、前記ICタグ付きパッケージ1と読取装置10とを用いた商品管理方法を説明する。少なくとも商品管理情報を記憶したICタグ2を設けたパッケージ1を、読取装置10を出入り口に設けた収納体に入れることで、前記パッケージ1のICタグ2が送信する商品管理情報を前記読取装置10の読取手段で読み取り、記憶手段で記憶するステップと、前記パッケージを前記収納体から取り出すことで、前記パッケージのICタグが送信する商品管理情報を前記読取手段で読み取り、該読み取った商品管理情報と前記記憶手段に記憶した商品管理情報とを比較し記憶した管理情報を書き換え

るステップと、該書き換えた商品管理情報を表示手段に表示するステップとからなる商品管理方法である。

【0018】より具体的な例として商品が食品の場合において、在庫管理方法の1例として商品の賞味期限を管理する方法を説明すると、商品管理情報として商品特定する固有の商品特定情報(商品名、ユニークな固有番号等)と賞味期限情報をICタグ2に記憶させたICタグ付きパッケージ1を、読取装置10を設けた冷蔵庫に入れることで、読取装置10が商品特定情報と賞味期限情報を読み取り、記憶手段に両情報を関連づけて記憶する。次に、読取装置が内部か外部に有する日付手段から日付情報を読み取り、前記記憶した商品固有情報と関連した賞味期限情報とを管理手段により比較し、賞味期限までの日数又は賞味期限を越えた日数を算出する、さらに、該管理手段によって算出された結果をディスプレイ11に表示する。出力手段を音声とすることもできる。

【0019】他の商品管理方法における在庫管理方法としては、賞味期限以内で使い終わるような商品については、商品特定情報、総重量情報、一回の小分け重量情報(消費重量情報)を記憶させたICタグ付きパッケージ1を読取装置10を設けた冷蔵庫に入れることで、ICタグから商品特定情報、総重量情報を読み取り記憶手段に記憶し、その後、冷蔵庫からICタグ付きパッケージを取り出すことで、その通過回数と一回の小分け重量情報(消費重量情報)を読み取り、記憶手段に記憶した総重量情報から読み取った一回の小分け重量情報(消費重量情報)を減じる管理処理を行う。そしてこの管理処理の結果を記憶手段に記憶した総重量情報を書き換え記憶するとともに、ディスプレイに表示する。この一連の処理を行うことで、商品を使いきる前に消費者に商品の残量(残り使用回数)を知らせることができる。

【0020】次により詳細な実施例を説明する。1回で商品を使いきる包装体の場合の実施例を説明する。商品は缶飲料、ビン飲料、デザートカップ、トレー食品、レトルトパウチ、カップ入り即席麺などの食品である。ICタグ付きパッケージのICタグに記憶させる商品管理情報としては、タグの情報:商品名称(メーカーがつけている名称)、種別、メーカー、賞味期限(消費期限、品質保持期限)である。読取装置の設置場所は冷蔵庫、食品収納タンスなどである。以下にICタグ付きパッケージと読取装置を用いた商品管理方法を説明する。消費者がストアなどで商品購入する。この時ICタグ中に購入日が記憶される。購入した商品のパッケージについているICタグを、冷蔵庫や食品収納タンスなどの商品収納予定場所に設置されている読取装置に商品管理情報を読み込ませてから収納する。商品管理情報のより具体的な例としては、賞味期限、保存個数(3個パック品である)などである。冷蔵庫や食品収納タンスに収納された商品を取り出す際、その商品をリーダーに近づけることで、消費情報を読み込ませる。この時、複数の同一商

品が入っている場合には、取り出した個数分だけディスプレイ上の保存個数から引かれる。商品管理処理を行った結果、在庫商品がなくなった場合、あるいは賞味期限を越えた商品を保存している場合には、ディスプレイ上に表示された商品名および種別が強調される（点滅、反転文字、色が変化など）。読取装置に備わっている「消去キー」を押すことで、記憶手段に記憶した商品管理情報を消去することができる。

【００２１】次に複数回で商品を使いきるパッケージの場合の例を説明する。商品としては、ＰＥＴ飲料ボトル、ドレッシング、バター、調味料、シャンプー、歯磨き粉、洗濯石鹸、洗剤などである。ＩＣタグに記憶する情報としては、商品名称（メーカーが付けている名称）、種別、メーカー名、賞味期限（消費期限、品質保持期限）総重量、小分け重量、小分け回数等である。読取装置の設置場所は、冷蔵庫、食品収納タンス、洗面所、浴室などである。消費者の行動とＩＣタグ読取装置の読み取り方法を説明すると、消費者がストアなどで商品を購入する。この時ＩＣタグに購入日が記憶される。次に、購入した商品の包装体についているＩＣタグを、冷蔵庫や食品収納タンスなどの商品収納予定場所に設置されているリーダーに商品情報を読み込ませてから収納する。この時、ＩＣタグ付きパッケージのＩＣタグから、読取装置が賞味期限、総重量、小分け重量、小分け回数などの情報を読み取り記憶する。読取装置の設置場所は、冷蔵庫や食品収納タンスや洗面所、浴室などである。そして、これら収納場所に収納された商品を取り出す際、その商品のＩＣタグ付きパッケージを読取装置に近づけることで、小分け回数情報が読み取られる。そして読取装置は小分け重量情報と小分け回数情報から計算される消費重量情報を計算し、記憶している内容物総重量情報から消費重量情報を減算し、この結果を前記内容物総重量情報として書き換え記憶する。またこの結果をディスプレイに表示する。この商品管理処理において消費重量が少なくなった場合、あるいは賞味期限を越えた商品を保存している場合には、ディスプレイ上に表示された商品名および種別が強調される（点滅、反転文字、色が変化）ことで消費者に補充の注意をうながすことが可能になる。この処理結果は、読取装置に備わっている「消去キー」を押すことで、消去することが可能である。

【００２２】次に読取装置にインターネット端末の機能を設けた場合の処理方法を説明する。ＩＣタグパッケージのＩＣタグに記憶されたホームページのアドレス情報等を読取装置の読取手段が読み取り、記憶手段に記憶し、表示手段に表示させ、使用者に前記アドレス情報を必要に応じて選択入力させることで、読取装置の送信手段がインターネットのアドレスに該当するサーバに接続し、該サーバの前記商品情報、広告、懸賞公募、レシピ入手など商品管理、情報の閲覧／登録することができ

る。図３に従い、読取装置にインターネット端末としての機能を持たせた情報閲覧方法、情報登録方法を説明する。情報閲覧方法としては、ＩＣタグに特定ＵＲＬを記憶させておき、ＩＣタグ付きパッケージを読取装置が設けられた収納体に入れることで、読取装置がＩＣタグに記憶されたＵＲＬを読み取り、記憶手段に記憶する。この後、読取装置が自動的に該ＵＲＬに該当するホームページのサーバにネットワークを介してアクセスし、該ホームページの情報を受信し、表示手段に表示することで閲覧することができる。閲覧できる情報としてはストアの商品情報（商品自体、あるいは任意の商品の広告情報、安売り情報など）が商品調理情報（レシピなど）が可能である。

【００２３】これらインターネットの機能を前記商品管理方法に連動することもできる。つまり、インターネットでの発注システムを構築しているメーカー、ストアの同システムと連動させ、読取装置上のディスプレイで発注をかけることが可能とするものである。前述のＩＣタグに記憶させた情報に加えて、メーカー、ストアの商品発注を行うホームページのＵＲＬを記憶させる。そうすることで、前記商品管理システムによって、商品が消費しきった情報（後何回で消費しきる情報）や賞味期限が切れた情報（何日後に切れる情報）、を得た消費者は、ディスプレイに表示される該当商品のメーカー、ストアの商品発注を行うホームページのＵＲＬを選択入力することで、読取装置の送信手段を通じてメーカー、ストアの商品発注を行うホームページに該当するサーバにアクセスし、該ホームページの発注フォーマットを表示させ、必要情報を入力する（あるいは予め記憶させておいた必要情報を送信、入力する）ことで容易に商品の補充発注をすることができる。これらの発注は読取装置のディスプレイ上で行う他に、読取装置に別途端末を設け、読取装置からの出力情報を同端末が読み取り記憶し、同端末から発注の入力を行うことも可能である。

【００２４】前記処理方法を組み合わせることで新たな処理を行いこともできる。その例として、前記した食品のレシピを閲覧する方法に、同レシピ情報に記載された商品情報に設けたＵＲＬから、商品の発注システムを行うホームページにアクセスし、同発注システムに入力を行うことも可能である。また同方法をさらに発展させ、これらの材料を使用した料理のレシピを、インターネットで検索形式（和洋中など）で取り寄せることが可能であり、その料理で足りない材料を提示することも可能である。

【００２５】また、前記入力方法は他の用途にも応用できる。それは、ＩＣタグに記憶したＵＲＬに対応するホームページを、メーカー、ストアのキャンペーン公募画面とすることで、前記操作を行うことで、消費者は容易にキャンペーン公募情報にアクセスでき、入力をおこなうことで応募することができる。この時、ＩＣタグに応

募に必要な応募制限情報（３品種で１回応募可能、総額１０００円で応募可能など）を記憶させておくこともできる。このような方法を実施することで、従来の煩雑なキャンペーン公募も、インターネットを経由して応募することが可能になり、結果的にメーカーの顧客データベースを蓄積することも可能である。

【００２６】

【発明の効果】商品を包装するパッケージにＩＣタグが設けられており、該ＩＣタグに商品管理情報が予め記憶されているため、別途商品管理情報を記憶するための媒体としてのＩＣカードなどを携帯する必要が無い。このため、ＩＣカードの携帯忘れによって、商品管理情報に基づく各種サービスを利用できなくなるということがなくなる。

【００２７】読取装置は、冷蔵庫や食品タンスだけでなく、洗面所や浴室など各種収納体に設置可能であり、食品の商品管理処理、賞味期限管理処理だけでなく、賞味期限内で使いきり可能な食品や、歯磨き粉やシャンプーなどのトイレタリー用品の内容物消費動向まで把握することが可能である。

【００２８】読取装置はネットワークを通じてインター

ネット経由で様々な情報を得ることが可能であり（商品安売り情報、新製品情報、料理レシピ）、通販などの機能も付与することが可能である。さらにインターネットを経由して、自分の嗜好にあった食品情報や、トイレタリー情報を各メーカーから広告を入手することも可能である。そして、商品購入情報が、インターネット経由でメーカーに伝わることを可能であるため、キャンペーン商品の懸賞公募の方法の一つとなりうる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の一実施形態に係わるＩＣタグ付きパッケージを示す斜視図である。

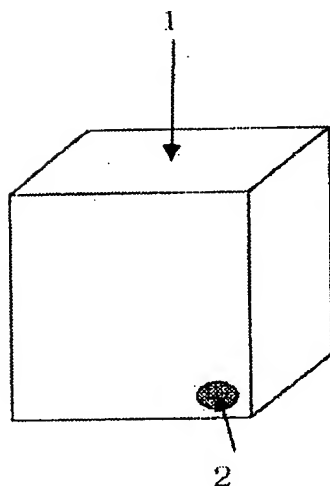
【図２】本発明の一実施形態に係わる読取装置を示す斜視図である。

【図３】ＩＣタグ付きパッケージと読取装置、及びインターネットを用いた商品管理方法、情報閲覧方法、申請方法の構成図である。

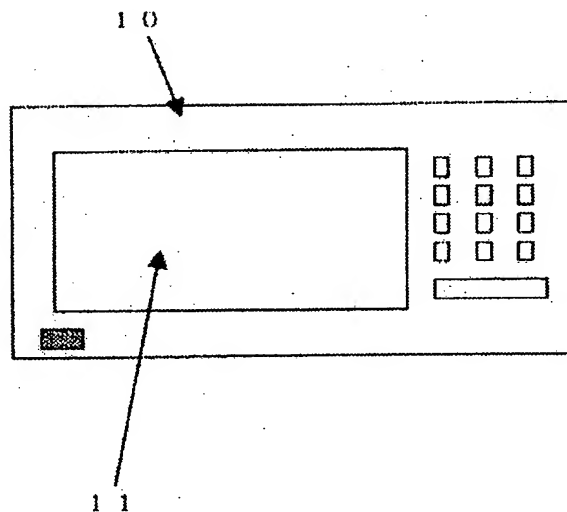
【符号の説明】

- １・・・パッケージ
- ２・・・ＩＣタグ
- １０・・・読取装置
- １１・・・表示手段

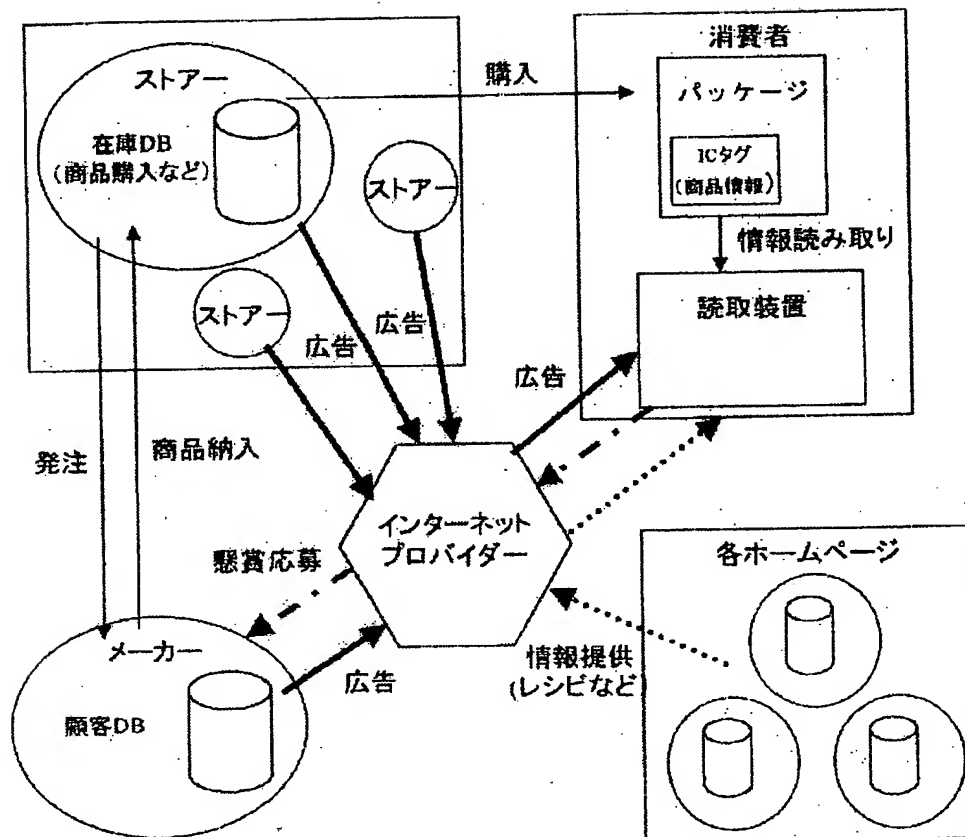
【図１】



【図２】



【図3】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>  
 テーマコート\* (参考)  
 G 0 6 K 19/00

識別記号

F I

G 0 6 K 19/00

Q